

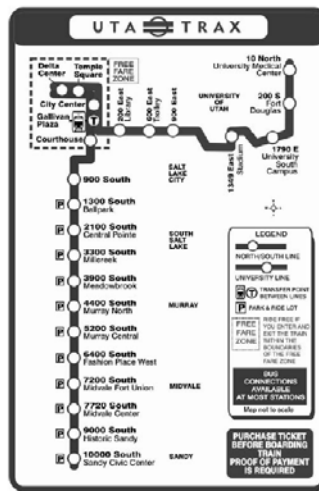
(8) アメリカ・ソルトレイク

国名・都市名	アメリカ・ソルトレイク	交通機関	LRT
概要	<p>・ユタ州ソルトレイク市は人口 181,743 人（2000 年）で、ユタ州の州都であり、同州の政治経済の中心地である。</p> <p>・1999 年 12 月に運行を開始した LRT は TRAX と呼ばれ、建設計画が予定より 1 年早く終了したうえ、費用も当初の予算を下回った。さらに、運行直後から利用客数が予測を上回り、利用客一人当たりのコストも低いことなどから、LRT の成功例の一つとして紹介されることも多い。</p> <p>【運営機関】 ユタ交通公社（Utah Transit Authority）、理事会（Board of Trustees、15 名で構成）</p> <p>【LRT 運行までの経緯】</p> <p>①財源確保に係る住民投票</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1985 年ソルトレイク都市圏で LRT 建設計画が開始 ・住民投票：1992 年にはソルトレイク郡内のみで、LRT システムの運営やバスシステムのサービス向上などを目的として、売上税の公共交通への充当分を 1/4 セント引き上げる住民投票が実施されたが、ソルトレイク郡の住民はこれを否認（支持 43%、反対 57%）した。これは当時、道路の交通渋滞が住民にとって切迫した問題と捉えられていなかったことや、LRT が交通渋滞の解消にどれだけの効果があるのかを疑問視する住民が多かった点などが、当案件が住民に否決された要因と分析される。 <p>②増税に頼らず LRT を建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上税の増税を住民に拒否された UTA だったが、連邦政府の補助金を獲得することができ、15 マイルの LRT を建設する費用の大部分を賄うことができた。このため UTA は当時の売上税収入を利用しつつ、1997 年に LRT 建設に着手した。 ・当初の計画では 2000 年末に LRT の運行を開始する予定であったが、建設計画が順調に進み、予定より 1 年早い 1999 年 12 月に運行が開始された。 <p>【LRT の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TRAX（Transit Express）は、1999 年に開業したのがサンディ・ソルトレイク線（Sandy/Salt Lake Line）、ソルトレイク・冬季オリンピックに合わせて 2002 年に開業したユニバーシティ線（University Line）の、2 路線が現在運行されている。2006 年現在の総延長は約 31 キロメートル、2 路線で 24 駅を設置している。 ・料金：均一料金で、1 回につき 1.5 ドルで利用できる。切符は各駅のプラットフォームに設置されている自動券売機で購入し、そのまま車両に乗り込める。 		

・基本的に駅は無人であるため改札口は無い。

【無料区間の設置】

ソルトレイク市のダウンタウンにおける指定範囲内は、サンディ・ソルトレイク線の Courthouse 駅から、TRAX の終着駅である Delta Center 駅までの区間となっている。これは TRAX だけでなく、UTA が運行するバスにも同様に設定されている。この無料区間は UTA が TRAX を運行する以前から、ソルトレイク市の要請に基づいて設定されていた。他の米国都市と同様に、衰退が著しかった同市のダウンタウンの活性化を目的として設定されたものであり、TRAX とバスの利用者増加に一役買っている。しかし一方で、利用客の多いダウンタウンの交通機関を無料としていることが好ましくないという議論も存在する。

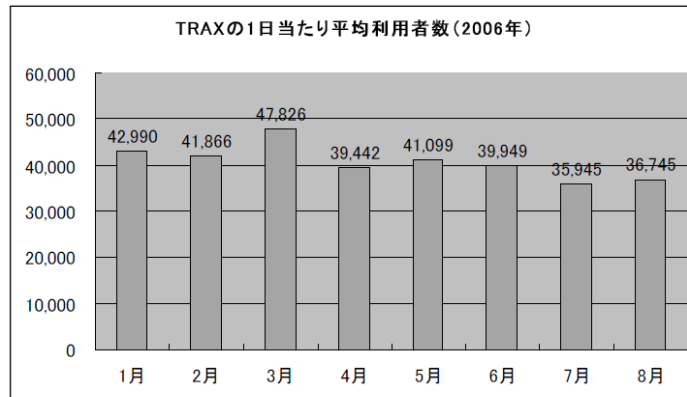


出典：<http://www.rideuta.com/schedulesAndMaps/routeSchedules/>

図 TRAX の路線図

【利用客数の推移】

2006 年 1 月から 8 月までの月間利用客数によれば、TRAX の 1 日の平均利用客数は 4.1 万人である。TRAX が開業する前の当初利用客予測は、1 日 1.4 万人だったが、運行を開始するとその予測を上回る 2.2 万人を記録した。2002 年のユニバーシティ線の開業後も利用客数は順調に増加を続けており、2004 年には 1 日約 3.1 万人、2005 年は 3.6 万人が利用している。



出典：UTA Rail Service Organization 提供資料より

【収支】

2004年と2005年を比較すると、運賃収入額は約21.5%、1,180,669ドルの大幅な増加となっている。UTAによる運賃収入の増加等に関する分析は財務報告書に見当たらない。しかし延べ年間利用客数も約43%、4,303,917人増加していることから、数値上からはTRAXの運営が順調であることがうかがえる。

	運賃収入額	運営支出額	運賃収入率	延べ年間利用客数
2005年	\$6,669,260	\$20,703,109	32.21%	14,323,780
2004年	\$5,488,591	\$20,013,185	27.42%	10,019,863

出典：2005 National Transit Database

出典

(財)自治体国際化協会「米国における公共交通の運営－LRTを中心として－」CLAIR REPORT NUMBER 301 (2007年)